

# 群青



八雲町立八雲中学校

令和8年度  
8月号

★教育目標 郷土を愛し、未来を築く人間の育成  
・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知)  
・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標

「互いに認め合い、学び合う生徒」の育成

二海郡八雲町東雲町 31 番地1

E-mail : yakumo-jh@town.yakumo.hokkaido.jp

## 伝えつなぐこと。

八雲町立八雲中学校長 植 田 資 世

夏季休業後集会を 21 日に行い、前期後半がスタートしました。校長から夏休み前に宿題を出していました。休み明けに無事に元気に登校する、というものです。そのために何をすべきか自分で考えなさいと話しました。それぞれ私の宿題を自分なりにやり遂げたようです。そこで言いました。実は人間は無事で過ごすことがいちばん難しいことなのだと。休み中の地震などの災害を見れば納得できる。そんなお話をし、多くの生徒が笑顔で登校できたことに感謝しました。

さて、夏休み中に平和学習事業で2名の3年男子が広島に派遣されました。8月6日の平和記念式典に出席するためです。八雲町からは5名の中学生が参加しました。帰町後15日に町長への報告会がありましたが、5人がそれぞれ自分の頭で感じ、考えたことを自分の言葉で報告していました。中学生ができる話のレベルをはるかに超える、一人の人間としての素晴らしい語りでした。本校の2名も大きな影響を受けて帰ってきました。命の重さを目の当たりにして様々な考えたと思います。後日報告会が予定されています。

二人はまるで人生観が変わったかのような顔つきに変わっていました。広島で聞いた人々の

言葉や、広島平和記念資料館等で目の当たりにした「死」や「戦争」という現実。体で感じることで心の奥まで響いたのだと思います。これは教科書からは到底得られない貴重な「学び」です。何十時間の授業よりも深く心に刻み込まれる「学び」です。学校ではこのような機会を平和学習のみならず、様々な分野で与えていきたいと考えています。例えば修学旅行での上智大学研修もその一つです。そしてこれは学校内にとどまらず、ご家庭や地域でも得られるものです。大人の多くの経験を生の言葉で子どもたちに伝えていきたい。直に見せたい。これこそが本当の「教育」だと思うのです。私は自分の子らに私自身の失敗談を聞かせたりもします。何か特別な事でなくていいと思うのです。とっても小さなことでも「共感」が生まれるとそれが「継承」として繋がっていきます。文化とはそういうものだと考えます。

学校が再開して10日間。毎朝挨拶をする生徒たちの笑顔が増えたり、彼らから「おはようございます」という言葉が先に出るなど4月に比べて良い変化が増えています。教師として有難い限りです。